

# 平成28年1月期第2四半期

## 決算説明会

株式会社ACCESS

2015年8月31日

The logo for ACCESS CO., LTD. features the word "ACCESS" in a white, sans-serif font. The letter "C" is stylized with three small circles above it. A trademark symbol (TM) is positioned to the upper right of the text. The logo is set against a dark blue background with a large, curved, lighter blue graphic element on the right side of the slide.

ACCESS™

ACCESS CO., LTD.

© 2015 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. | Confidential

# 本資料の注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社グループで判断したものです
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して、投資等の判断を行なうことは差し控えてください

●ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。●IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOSは、IP Infusion Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。

# 目次

- I. 平成28年1月期第2四半期 決算概況
- II. 平成28年1月期第2四半期 事業進捗状況
  - 1. セグメント業績
  - 2. 取り組み事例

## *Appendix*

# I. 平成28年1月期第2四半期 決算概況

## 決算ハイライト

(平成28年1月期第2四半期 / 前年同期比)

(単位：百万円)

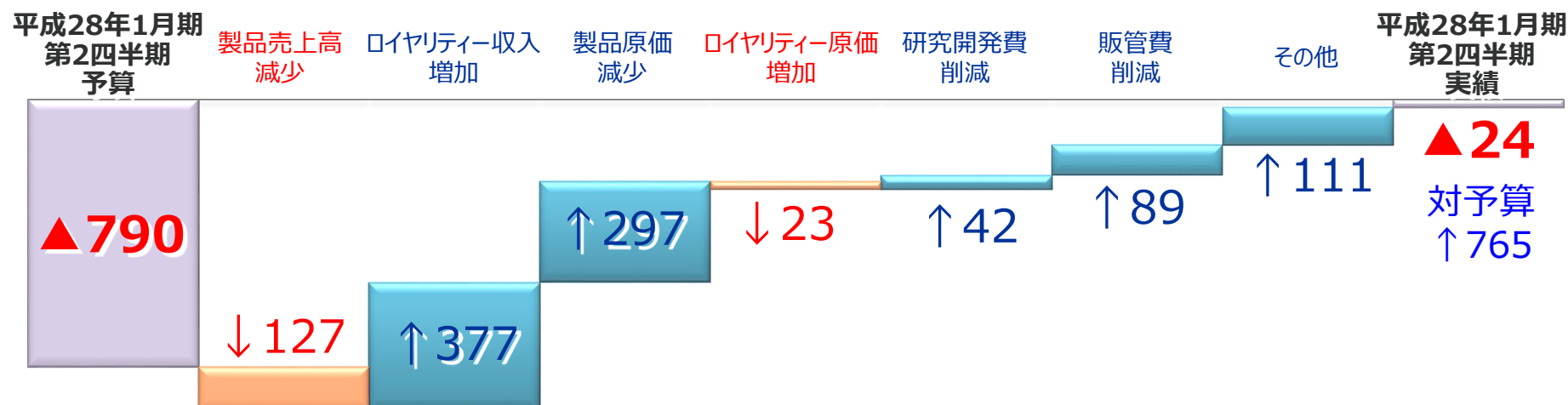
	前年同期	当期	前期比
売上高	3,164	3,629	+465
売上総利益	1,621	1,703	+81
営業利益	▲558	▲135	+423
経常利益	▲546	▲24	+522
特別利益	-	460	+460
特別損失	32	196	+164
四半期純損益	▲653	213	+867

※平成28年1月期第1四半期より会計方針の変更を行っているため、前年同期については、遡及処理後の数値を記載

# 経常利益比較

## 予算比較

(単位：百万円)



## 前年比較

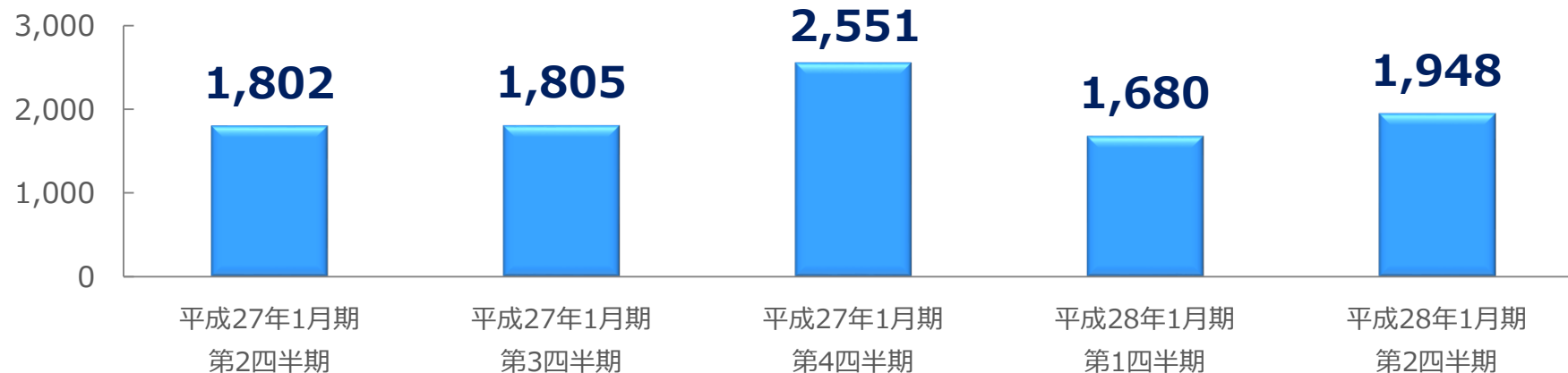


※平成28年1月期第1四半期より会計方針の変更を行っているため、前年比較については、遡及処理後の数値を記載

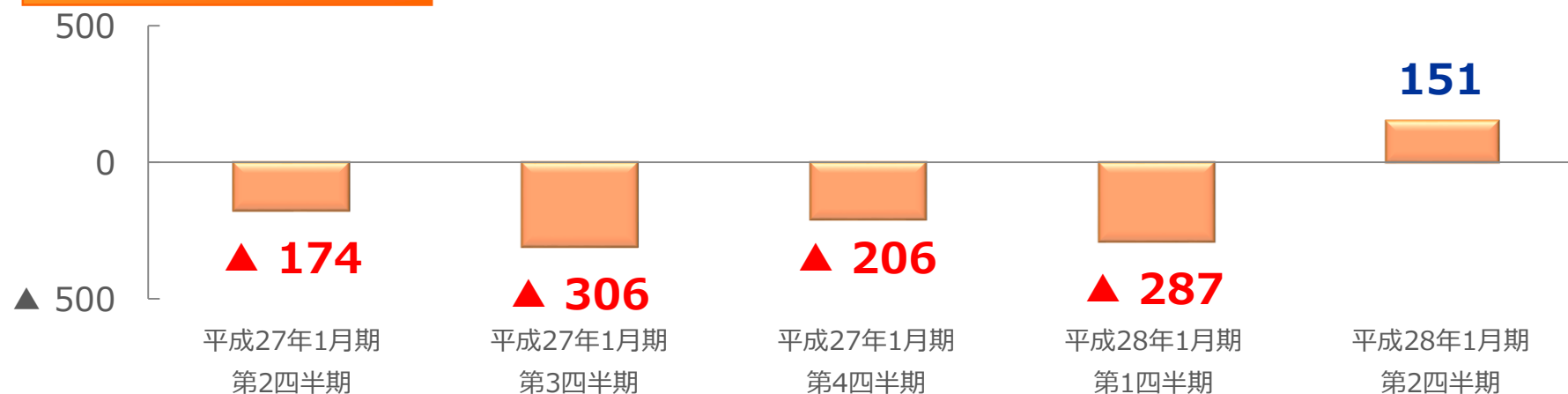
# 売上高・営業利益比較

## 売上高推移

(単位：百万円)



## 営業利益推移



※平成28年1月期第1四半期より会計方針の変更を行っているため、過年度については、遡及処理後の数値を記載

## II. 平成28年1月期第2四半期 事業進捗状況



# セグメントの変更について

平成28年1月期 第1四半期より、事業セグメントを変更

旧セグメント

ソフトウェア事業（国内）  
**NetFront**®  

ソフトウェア事業（海外）  
ヨーロッパ・韓国・中国拠点

ネットワークソフト事業  
**ipinfusion**™  
An ACCESS Company

フロントエンド事業  
    
JINSOKU publus™ CROS™

新セグメント

ソフトウェア事業（国内）  
 

ソフトウェア事業（海外）  
ヨーロッパ・韓国・中国拠点

ネットワークソフトウェア事業  
**ipinfusion**™  
An ACCESS Company

フロントエンド事業を  
ソフトウェア事業（国内）に統合

# セグメント別事業状況

## － 第2四半期（累計）業績 －

	前年同期 ①	当期 ②	前期比 ②-①	
ソフトウェア 事業 (国内)	売上高 <sup>※1</sup>	1,669	1,710	+40
	貢献利益 <sup>※2</sup>	438	225	▲213
	社員数	151	183	+32
ソフトウェア 事業 (海外)	前年同期 ①	当期 ②	前期比 ②-①	
	売上高 <sup>※1</sup>	730	799	+68
	貢献利益 <sup>※2</sup>	▲166	▲63	+103
社員数	156	117	▲39	
ネットワーク ソフトウェア 事業	前年同期 ①	当期 ②	前期比 ②-①	
	売上高 <sup>※1</sup>	763	1,120	+356
	貢献利益 <sup>※2</sup>	▲197	73	+271
社員数	226	220	▲6	

● 売上は増加したが、収益性の高いロイヤリティ・ライセンス関連ビジネスは引き続き縮小傾向にあり、全体の利益率は悪化

● 事業規模に応じた運営体制の適正化を行い、損益が改善

● 欧州はマルチスクリーン案件獲得により売上増加

● 下期に見込んでいた案件を早期獲得したことにより売上を前倒しで計上

※平成28年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績・人員を変更後のセグメント区分に従って表示

※平成28年1月期第1四半期より会計方針の変更を行っているため、前年同期については、遡及処理後の数値を記載

※1 外部顧客への売上高 ※2 全社費配賦前利益

# 取り組み事例①

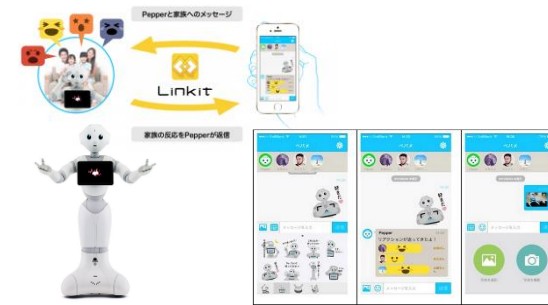
## － ソフトウェア事業（国内） －

### IoT分野



ネスレ日本  
「ネスカフェ アンバサダー」の  
コーヒーバリスタ

### クラウド分野



ソフトバンクグループの  
感情認識ロボット  
「Pepper」

日本交通×博報堂DY  
メディアパートナーズ向け  
情報配信サービス



NTTドコモの  
法人向けビジネス  
パッケージ  
「ビジネスプラス」



富士通ゼネラルの  
「どこでもエアコン」サービス

東京ドームの読売  
ジャイアンツ主催試合  
レジェンズシート向け  
「座席de注文」サービス



JP+ PUELUS  
ベネッセのプリペイド式  
オンライン学習プログラム  
「BenePa」

## 取り組み事例② － ソフトウェア事業（海外） －

### ● 有料テレビ事業者向けマルチスクリーンソリューション 「ACCESS Twine™」事業推進



- ✓ あらゆるスマートデバイスへコンテンツをセキュアに配信
- ✓ 視聴分析、広告効果測定等へも応用可能
- ✓ 大手TV事業者への採用が決定



ACCESS Europe  
(Oberhausen)

ACCESS China  
(Beijing)

ACCESS Seoul



### ● 韓国市場向けに、ディズニー作品のデジタルコンテンツの ライセンス権を取得

- ✓ 2015年8月以降、エデュテインメント  
(education+entertainment) ・  
電子書籍・ゲーム等の多彩な  
ジャンルのディズニー作品を提供



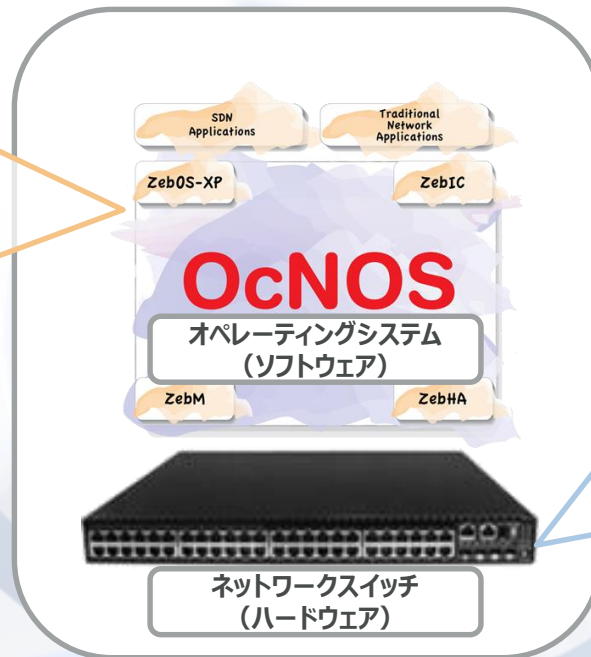
## 取り組み事例③

### － ネットワークソフトウェア事業 －

Dellと協業し、統合ネットワークオペレーティングシステム「OcNOS™」を提供開始

**ipinfusion™**  
An ACCESS Company

- ✓ キャリアグレードの高水準なネットワークオペレーティングシステムの提供
- ✓ 世界で250社以上の豊富な採用実績があるZebOS®をベースに構築



**Dell**

- ✓ 高性能オープンネットワークスイッチの提供
- ✓ グローバルな流通体制
- ✓ 企画・実装・サポート等におけるネットワークの知見

データセンター事業者・サービスプロバイダ等を対象に提供開始  
ネットワーク仮想化ソリューションの迅速、容易、かつ低コストでの導入・運用を実現

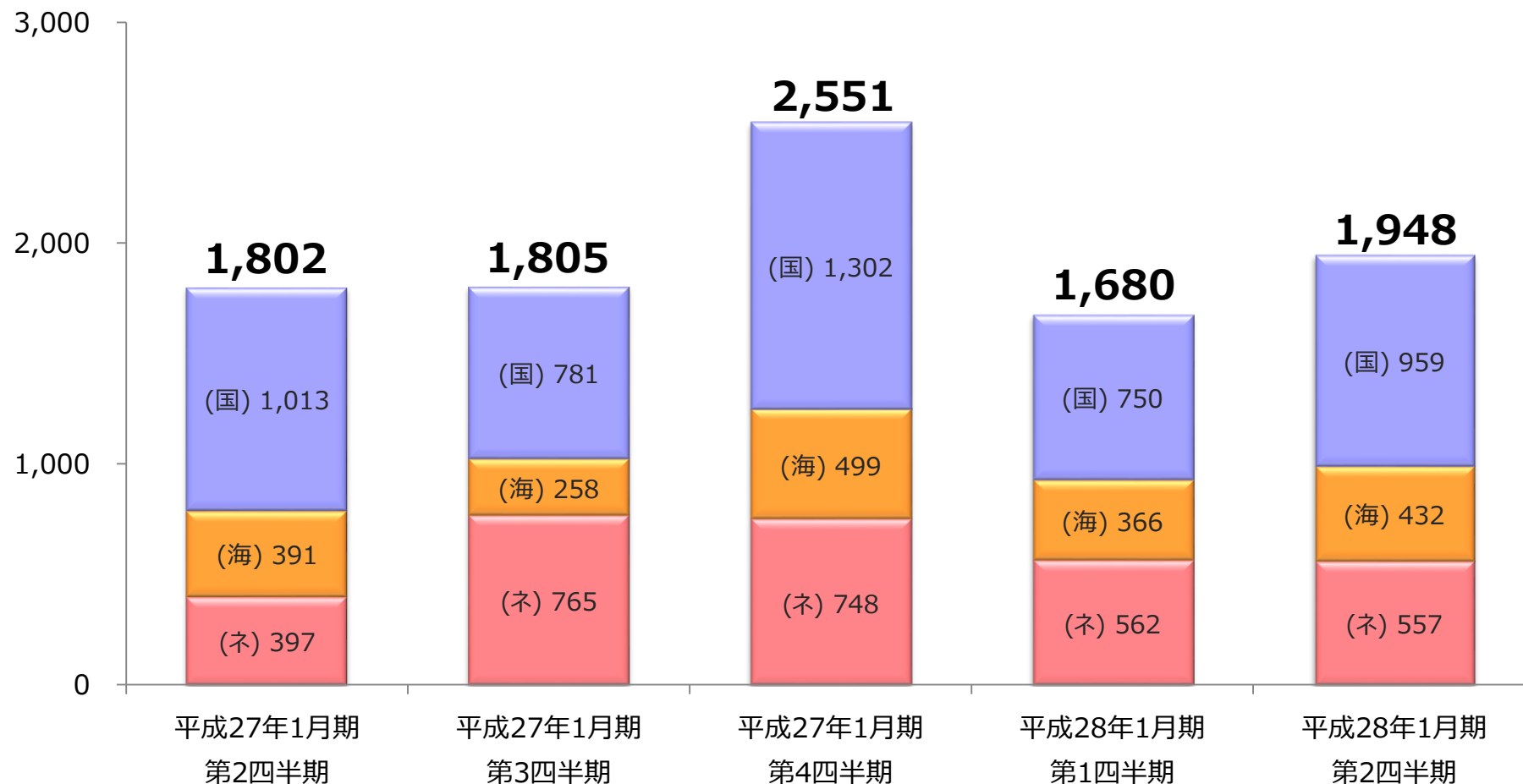
# *Appendix*

1. セグメント別売上高の推移
2. セグメント別営業利益の推移
3. 特別利益・特別損失の明細
4. 受託開発（製品）の受注状況
5. 貸借対照表（要約）
6. キャッシュ・フローの状況（要約）
7. 人員の推移
8. 平成28年1月期 上期 開示一覧

# セグメント別売上高の推移

■ ソフトウェア事業（国内）
 ■ ソフトウェア事業（海外）
 ■ ネットワークソフトウェア事業

（単位：百万円）



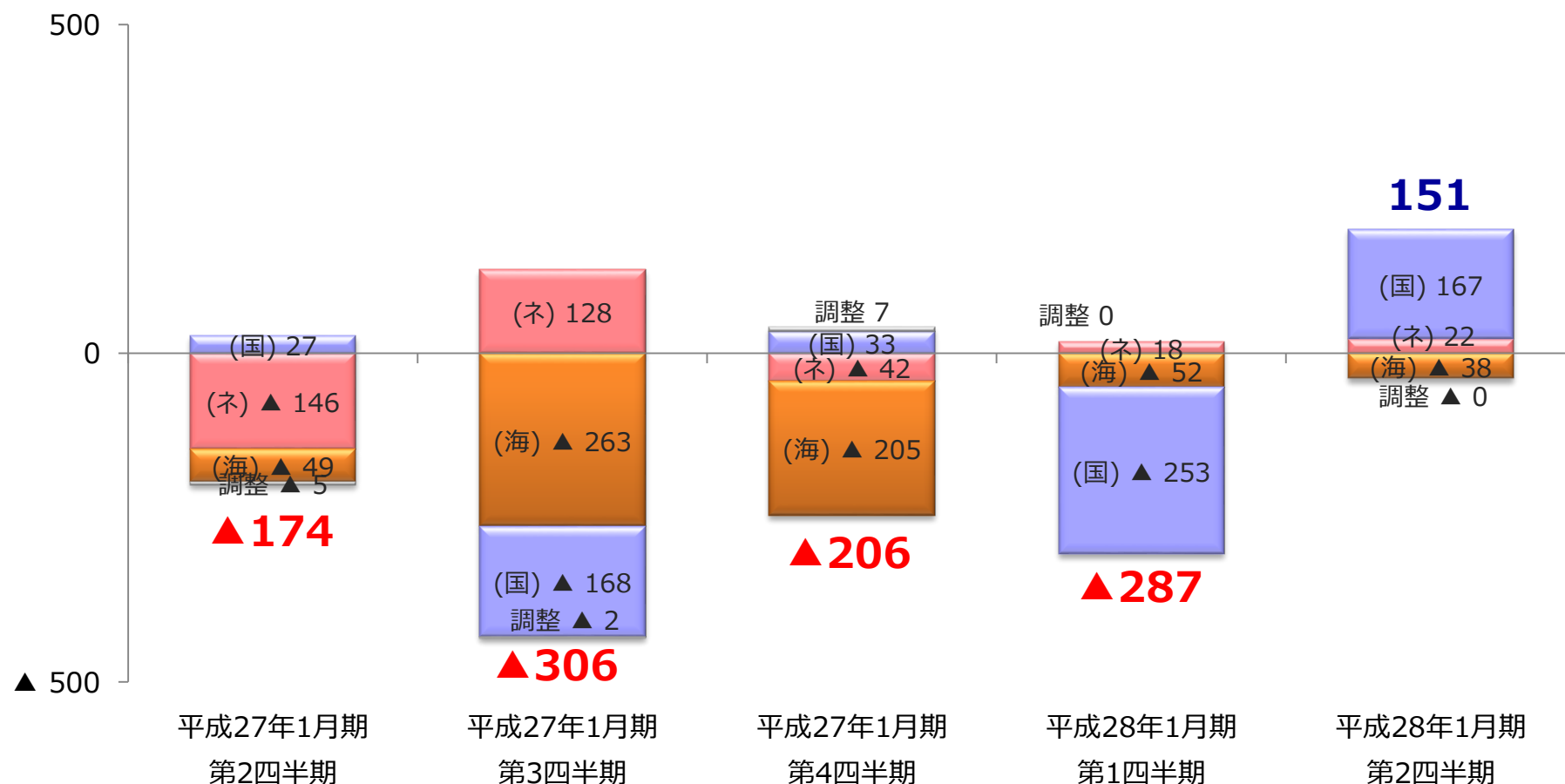
※平成28年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績を変更後のセグメント区分に従って表示



# セグメント別営業利益の推移

■ ソフトウェア事業（国内）
 ■ ソフトウェア事業（海外）
 ■ ネットワークソフトウェア事業  
■ 調整額

(単位：百万円)



※平成28年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の業績を変更後のセグメント区分に従って表示  
 ※平成28年1月期第1四半期より会計方針の変更を行っているため、過年度分については、遡及処理後の数値を記載

# 特別利益・特別損失の明細

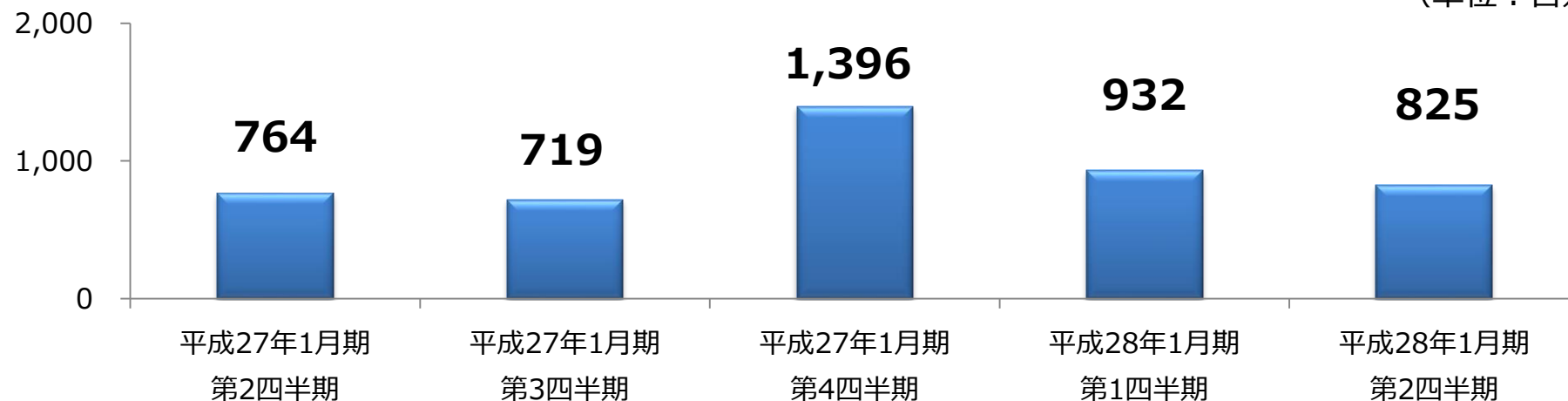
(単位：百万円)

	科目名	ACCESS (本社)	子会社	修正	連結合計
特別利益	新株予約権戻入益	-	442	-	442
	有形固定資産売却益	0	18	-	18
	その他	47	-	▲ 47	-
	<b>合計</b>	<b>47</b>	<b>460</b>	<b>▲ 47</b>	<b>460</b>
特別損失	特別退職金	-	72	-	72
	事業構造改善費用	69	-	-	69
	商品評価損	20	-	-	20
	損害賠償金	18	-	-	18
	関係会社整理損失引当金繰入額	7	-	-	7
	事務所移転費用	-	6	-	6
	為替換算調整勘定取崩損	-	-	2	2
<b>合計</b>	<b>115</b>	<b>78</b>	<b>2</b>	<b>196</b>	

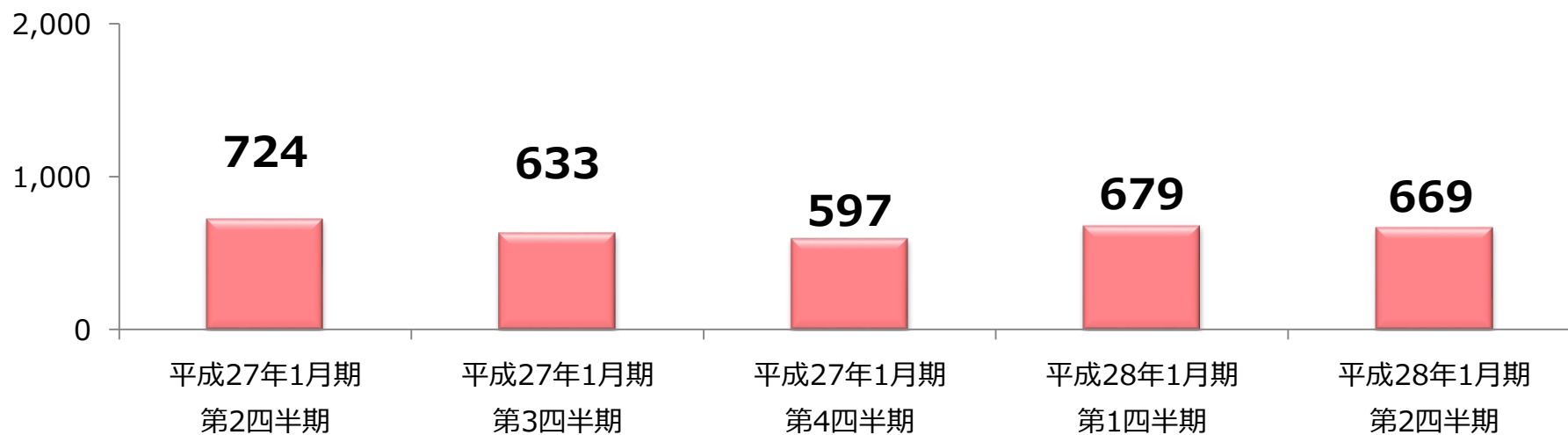
# 受託開発（製品）の受注状況

## 受注高

(単位：百万円)



## 受注残高



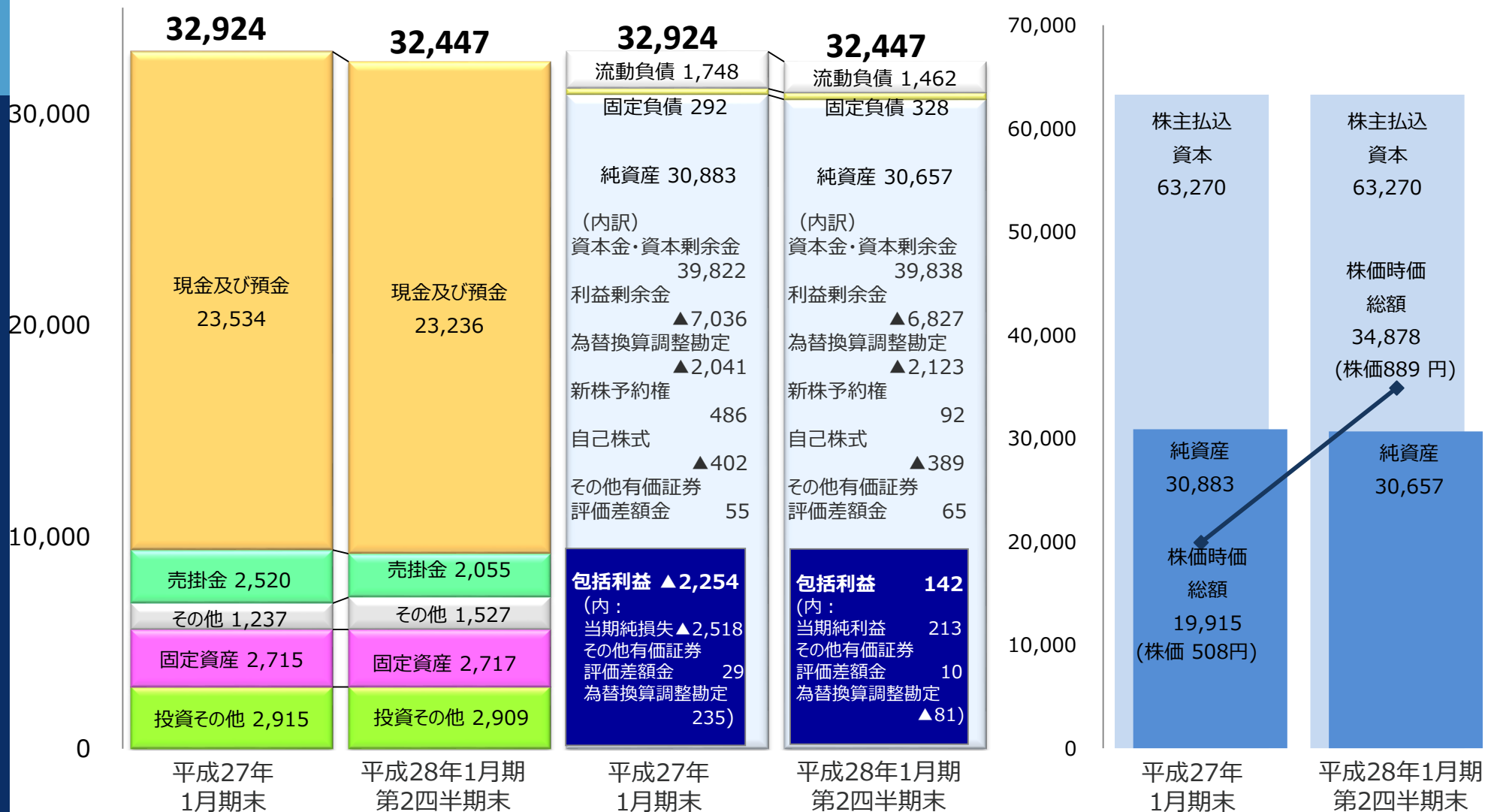
# 貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

連結BS資産

連結BS負債・純資産

株価時価総額・純資産対比表



# キャッシュ・フローの状況（要約）

（単位：百万円）

	平成28年1月期 第2四半期	平成27年1月期 第2四半期	平成27年1月期 通期																								
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	150	659	207																								
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	3	▲95	127																								
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	0	▲0	▲0																								
IV. 現金及び現金同等物に係わる為替換算差額	4	▲86	214																								
V. 現金及び現金同等物の増加額	157	477	549																								
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	23,855	23,306	23,306																								
VII. 連結除外に伴う現金同等物の減少額	▲17	-	-																								
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	23,995	23,783	23,855																								
<table border="1"> <tr> <td>税金等調整前当期純利益：</td> <td>240 百万円</td> <td>税金等調整前当期純損失：</td> <td>▲579 百万円</td> <td>税金等調整前当期純損失：</td> <td>▲2,423 百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費：</td> <td>55 百万円</td> <td>減価償却費：</td> <td>163 百万円</td> <td>減価償却費：</td> <td>360 百万円</td> </tr> <tr> <td>売上債権の減少：</td> <td>480 百万円</td> <td>売上債権の減少：</td> <td>1,627 百万円</td> <td>減損損失：</td> <td>1,479 百万円</td> </tr> <tr> <td>新株予約権戻入額：</td> <td>▲442 百万円</td> <td></td> <td></td> <td>売上債権の減少：</td> <td>1,483 百万円</td> </tr> </table>				税金等調整前当期純利益：	240 百万円	税金等調整前当期純損失：	▲579 百万円	税金等調整前当期純損失：	▲2,423 百万円	減価償却費：	55 百万円	減価償却費：	163 百万円	減価償却費：	360 百万円	売上債権の減少：	480 百万円	売上債権の減少：	1,627 百万円	減損損失：	1,479 百万円	新株予約権戻入額：	▲442 百万円			売上債権の減少：	1,483 百万円
税金等調整前当期純利益：	240 百万円	税金等調整前当期純損失：	▲579 百万円	税金等調整前当期純損失：	▲2,423 百万円																						
減価償却費：	55 百万円	減価償却費：	163 百万円	減価償却費：	360 百万円																						
売上債権の減少：	480 百万円	売上債権の減少：	1,627 百万円	減損損失：	1,479 百万円																						
新株予約権戻入額：	▲442 百万円			売上債権の減少：	1,483 百万円																						
<table border="1"> <tr> <td>定期預金の預入による支出：</td> <td>▲477 百万円</td> <td>定期預金の預入による支出：</td> <td>▲487 百万円</td> <td>定期預金の預入による支出：</td> <td>▲506 百万円</td> </tr> <tr> <td>定期預金の払戻による収入：</td> <td>457 百万円</td> <td>定期預金の払戻による収入：</td> <td>614 百万円</td> <td>定期預金の払戻による収入：</td> <td>962 百万円</td> </tr> <tr> <td>関係会社の清算による収入：</td> <td>47 百万円</td> <td>無形固定資産の取得による支出：</td> <td>▲168 百万円</td> <td>無形固定資産の取得による支出：</td> <td>▲239 百万円</td> </tr> </table>				定期預金の預入による支出：	▲477 百万円	定期預金の預入による支出：	▲487 百万円	定期預金の預入による支出：	▲506 百万円	定期預金の払戻による収入：	457 百万円	定期預金の払戻による収入：	614 百万円	定期預金の払戻による収入：	962 百万円	関係会社の清算による収入：	47 百万円	無形固定資産の取得による支出：	▲168 百万円	無形固定資産の取得による支出：	▲239 百万円						
定期預金の預入による支出：	▲477 百万円	定期預金の預入による支出：	▲487 百万円	定期預金の預入による支出：	▲506 百万円																						
定期預金の払戻による収入：	457 百万円	定期預金の払戻による収入：	614 百万円	定期預金の払戻による収入：	962 百万円																						
関係会社の清算による収入：	47 百万円	無形固定資産の取得による支出：	▲168 百万円	無形固定資産の取得による支出：	▲239 百万円																						

# 人員の推移

(単位：人)		平成27年1月期				平成28年1月期	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
	日本	146	151	155	156	182	183
<b>ソフトウェア事業（国内）</b>		<b>146</b>	<b>151</b>	<b>155</b>	<b>156</b>	<b>182</b>	<b>183</b>
	アジア（日本以外）	125	115	115	106	81	75
	北米	3	3	3	2	1	1
	ヨーロッパ	40	38	41	42	41	41
<b>ソフトウェア事業（海外）</b>		<b>168</b>	<b>156</b>	<b>159</b>	<b>150</b>	<b>123</b>	<b>117</b>
	日本	9	10	10	11	-	-
	アジア（日本以外）	190	191	201	200	196	196
	北米	27	25	25	25	24	24
<b>ネットワークソフトウェア事業</b>		<b>226</b>	<b>226</b>	<b>236</b>	<b>236</b>	<b>220</b>	<b>220</b>
	日本	34	37	33	33	25	30
<b>研究開発・マーケティング等</b>		<b>34</b>	<b>37</b>	<b>33</b>	<b>33</b>	<b>25</b>	<b>30</b>
	日本	40	33	31	32	38	26
<b>本社管理部門</b>		<b>40</b>	<b>33</b>	<b>31</b>	<b>32</b>	<b>38</b>	<b>26</b>
<b>合計</b>		<b>614</b>	<b>603</b>	<b>614</b>	<b>607</b>	<b>588</b>	<b>576</b>

※平成28年1月期第1四半期より報告セグメントを変更したため、過年度分の人員を変更後のセグメント区分に従って表示  
 ※全て各四半期末時点における人員数

# 平成28年1月期 上期 開示一覧 ①

		適時開示	報道発表
第1四半期	2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ティーエージェント本社の基幹業務システムを、ACCESSが「CROS™」をベースに再構築</li> <li>■ ストラトスフィア、企業ネットワーク向けSDNソリューション「OmniSphere」の機能を拡充し、セキュリティ強化とネットワーク管理の効率化を実現</li> <li>■ ストラトスフィア、ディザスタリカバリ対策や負荷分散に最適な「Stratosphere SDN Platform 2.0」を提供開始</li> <li>■ IP Infusion、新世代ネットワークプラットフォームの最新版「ZebOS® -XP Release 1.2」を提供開始</li> <li>■ 世界初の感情認識パーソナルロボット「Pepper」にACCESSのクラウド型メッセージサービス「Linkit®」が採用</li> <li>■ ACCESS、はてなのクラウドパフォーマンス管理サービス「Mackerel」を販売開始</li> <li>■ 国内初、大手クレジットカードのiBeaconを活用したO2Oサービスに「ACCESS™ Beacon Framework」が採用</li> <li>■ 世界最先端のG空間技術を活用した地下街における災害時情報伝達システムの開発および検証事業に、「ACCESS™ Beacon Framework」および「Linkit®」が採用</li> </ul>

# 平成28年1月期 上期 開示一覧 ②

		適時開示	報道発表
第1四半期	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成27年1月期 通期連結業績予想値と実績値との差異、個別決算における前事業年度の実績値との差異、及び特別損失計上に関するお知らせ</li> <li>■ 代表取締役及び取締役の異動（内定）に関するお知らせ</li> <li>■ 剰余金の配当（見送り）に関するお知らせ</li> <li>■ 定款一部変更に関するお知らせ（3月13日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACCESSの「Linkit®」が、健康食品のモニターと店舗スタッフのコミュニケーションを支援</li> <li>■ ACCESS、総務省の「ICTを活用した次世代ITSの確立」研究開発事業にブラウザ開発企業として選定</li> <li>■ ベネッセのプリペイドカード式オンライン学習プログラム「BenePa」のビューアにACCESSの「PUBLUS® Reader for Browser」が採用</li> <li>■ ACCESS、あらゆる機器をIoT化するためのネットワーク対応の組み込み向けUIエンジン「paneE™」を開発、提供開始</li> <li>■ コーヒーマシンとBeaconが連動した「ネスカフェ アプリ」にネスレ日本が「ACCESS™ Beacon Framework」を採用</li> </ul>
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 通期連結業績予想に関するお知らせ（4月9日付）</li> <li>■ ストックオプション（新株予約権）の行使期間満了及び特別利益計上に関するお知らせ（4月28日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACCESS、クラウド型ビジネスチャット「Linkit™」の法人向け販路を拡大</li> <li>■ 「日本交通タクシー配車」アプリ×Beacon搭載タクシーによる先駆的な情報配信サービスの実証実験を開始</li> <li>■ ACCESS、あらゆるモノのIoT化を加速する、クラウド統合ソリューション「ACCESS Connect™」を開発、提供開始</li> <li>■ 富士通ゼネラルの「どこでもエアコン」サービスに、クラウド統合ソリューション「ACCESS Connect™ xEMS Profile」が採用</li> <li>■ IP Infusion、統合ネットワークオペレーティングシステム「OcNOS™」を発表</li> <li>■ デルとIP Infusion、「OcNOS™」の販売において提携</li> <li>■ 日本能率協会マネジメントセンターの通信教育向け新「電子テキスト」サービスに、ACCESSのEPUB 3対応電子書籍ビューア「PUBLUS® Reader for Browser」が採用</li> </ul>



# 平成28年1月期 上期 開示一覧 ③

		適時開示	報道発表
第2四半期	5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京ドームの読売ジャイアンツ主催試合レジェンズシートの売り子呼び出しサービス「座席de注文」に「ACCESS™ Beacon Framework」が採用</li> <li>■ ルネサスの新HMIソリューション「RZ/G」シリーズが、ACCESSのIoTクラウド統合ソリューション「ACCESS Connect™」に対応</li> <li>■ ACCESS Seoul、ディズニー作品のデジタルコンテンツの韓国におけるライセンス権を取得</li> <li>■ SDN関連事業の発展的合併解消について</li> </ul>
	6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「Interop Tokyo 2015」出展案内</li> <li>■ カシオのゴルフ向けデジタルカメラ「EXILIM」「EX-FC500S」で、動画対応の3Dゴルフスイングサービス「Fullmiere® Camera」が、6月4日より、利用可能に!</li> <li>■ ACCESS、人の移動履歴に連動したサービスを実現する、IoTクラウド統合ソリューション「ACCESS Connect™ Location Profile」を提供開始</li> <li>■ 1000万DLのスマホ・ポータル「Gunosy Platform」の新マンガサービス、無料で読める「グノシーマンガ」に「PUBLUS® Reader for Browser」が採用</li> <li>■ ACCESS、ソニー・ミュージックコミュニケーションズの店舗向けサイネージ用新マーケティングツール「テニトル」を共同開発</li> </ul>
	7月		